

# 企業経営動向調査

公益財団法人 徳島経済研究所

調査目的	徳島県内の企業動向を的確に把握すること
対象企業	県内主要企業 285社、回答企業 180社、回答率 63.2%
調査対象期間	2022年10～12月期の実績見込み、2023年1～3月期および4～6月期の予想
調査時点	2022年12月上旬～2023年1月上旬
	※1～3月期をⅠ期、4～6月期をⅡ期、7～9月期をⅢ期、10～12月期をⅣ期とする。

## 要約

### 2022年10～12月期の業況判断(季節調整済)は悪化 先行き2023年1～3月期、4～6月期はともに改善する見通し

県内企業(全産業)経営動向調査結果によれば、業況判断 BSI (季節調整済)について、2022年7～9月期と比べ10～12月期(Ⅲ期→Ⅳ期:  $\Delta 15 \rightarrow \Delta 22$  ( $\Delta 7$ ポイント))は悪化した。なお、前回調査時の予想( $\Delta 19$ )と比べるとやや悪化している。業種別では、製造業(同:  $\Delta 15 \rightarrow \Delta 31$ )、非製造業(同:  $\Delta 14 \rightarrow \Delta 19$ )はともに悪化しており、原材料およびエネルギーの価格上昇やコロナ第8波感染拡大などの影響が現れている。また、売上げ BSI (同:  $\Delta 1 \rightarrow \Delta 7$ )、収益 BSI (同:  $\Delta 9 \rightarrow \Delta 18$ )も悪化した。

先行きの業況判断 BSI の2023年Ⅰ期予想は $\Delta 8$ 、続くⅡ期予想は $\Delta 4$ と改善が続く見通し。足元のコロナ感染は終息していないものの、インフルエンザと同等の指定感染症5類への引き下げが検討されるなどの現状のもと、ポストコロナへの期待感が見て取れる。また、種々の価格上昇などに対する不透明感が依然根強く、予断を許さない状況が続いているものの、2022年夏から秋にかけて急激にコスト上昇したことに比べれば、その幅はやや落ち着いてくるとの期待が現れている。

2022年Ⅳ期の設備投資は、実施企業の比率は前年同期と比べ3.3ポイント低下、総投資額は約201億円で同77.6%減少した。業種別では、製造業が同81.0%減、非製造業が同35.6%増であった。先行き2023年Ⅰ期の計画は、実施企業の比率は前年同期より4.0ポイント低下、総投資額は約364億円で同21.7%減の見込み。もっとも、2021年Ⅳ期、2022年Ⅰ期に大規模な投資が行われた反動であり、過去の水準と比較して著しく低いわけではないため、注意が必要。続くⅡ期は、約250億円で同25.9%増と増加に転じる見込みである。

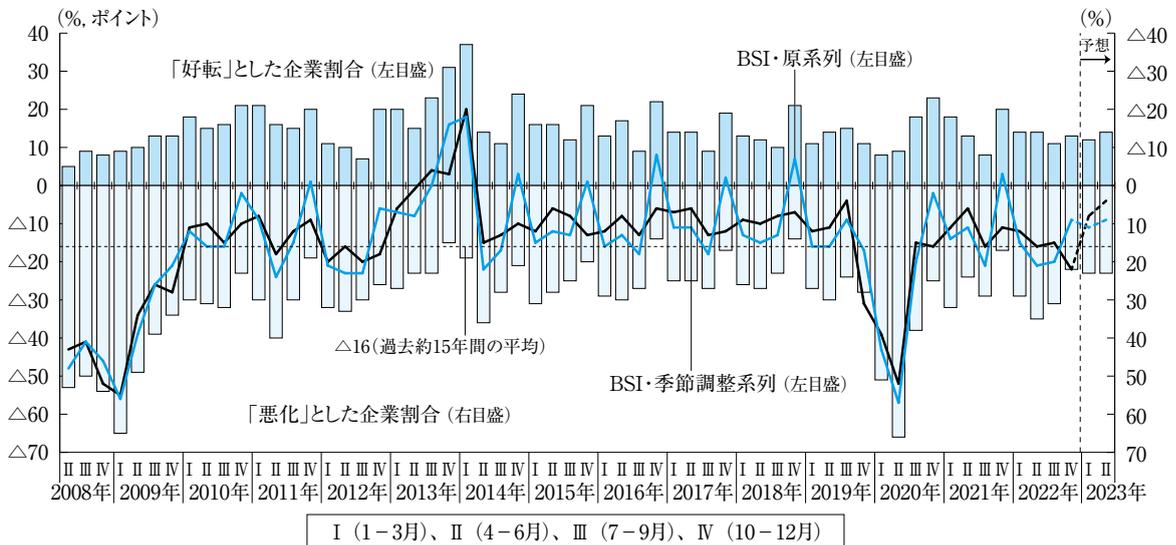
なお、今後1年間の設備投資意欲については、Ⅲ期と比べ、製造業、非製造業ともに改善している。

1. 概況  
(全業種)

【2022年10～12月期の実績見込み】 業況判断は悪化

県内企業のⅣ期のBSI（業況が「好転（増加）」と回答した企業割合から「悪化（減少）」と回答した企業割合を引いた数値（季節調整済）をみると、Ⅲ期と比べ、業況判断BSI（△15→△22）、売上げBSI（△1→△7）、収益BSI（△9→△18）とすべての項目で悪化した。原材料およびエネルギーの価格上昇やコロナ第8波感染拡大、不安定な国際情勢などによる不透明感は依然根強い。

企業経営者による業況判断

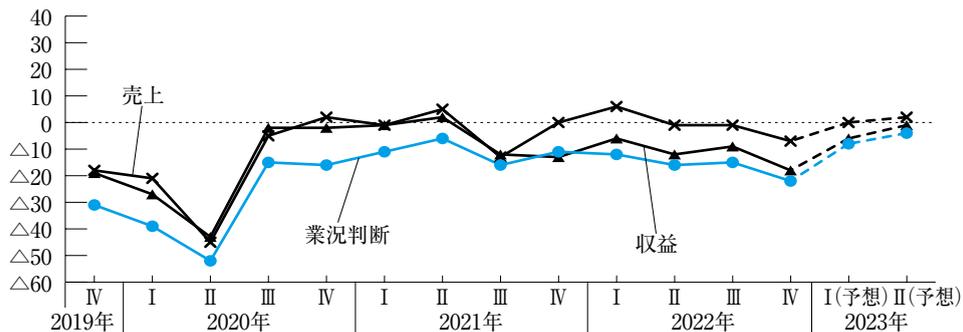


注：季節調整は、米国センサス局開発の X-12-ARIMA により実施

【2023年1～3月期・4～6月期の予想】 業況判断は、2023年Ⅰ期、Ⅱ期ともに改善する見通し

2023年Ⅰ期の予想は、Ⅳ期に比べ、業況判断BSI（△22→△8）、売上げBSI（△7→0）、収益BSI（△18→△6）すべての項目で大幅に改善する見通しである。なお、この業況判断

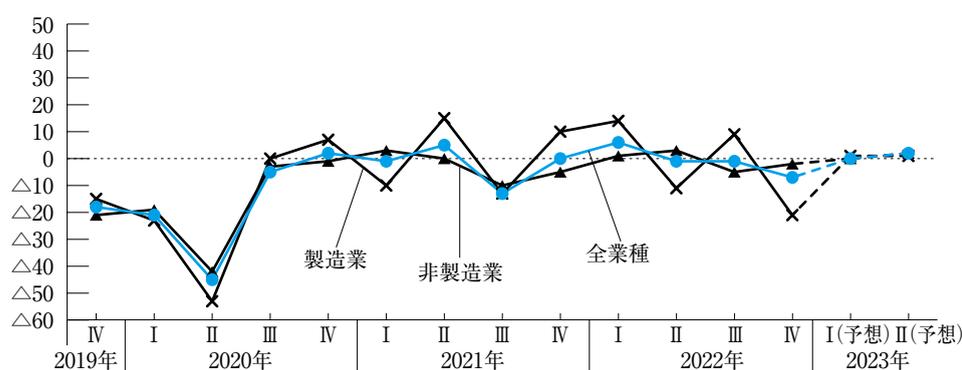
全業種BSI



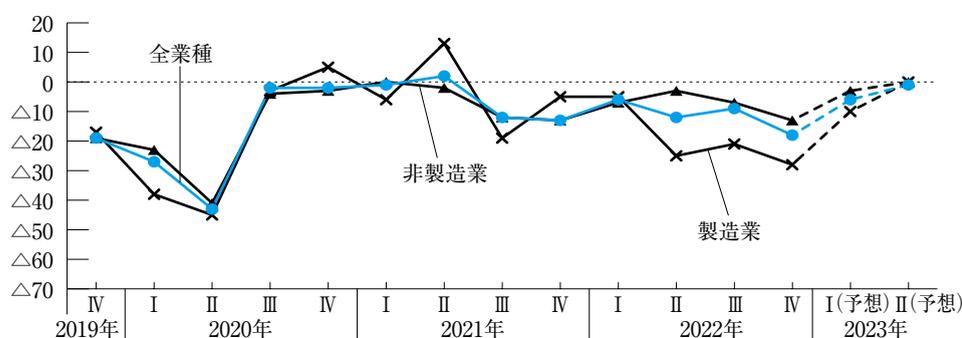
BSIは、過去約15年(2008年I期以降)の平均( $\Delta 16$ )を上回る水準である。続くII期は、業況判断BSI( $\Delta 8 \rightarrow \Delta 4$ )、売上げBSI( $0 \rightarrow 2$ )、収益BSI( $\Delta 6 \rightarrow \Delta 1$ )も改善する見通しとなっており、先行きに明るさがみられ始めている。

足元のコロナ感染は終息していないものの、インフルエンザと同等の指定感染症5類への引き下げが検討されるなどの現状のもと、ポストコロナへの期待感が見て取れる。また、種々の価格上昇などに対する不透明感が依然根強く、予断を許さない状況が続いているものの、2022年夏から秋にかけて急激にコスト上昇したことに比べれば、その幅はやや落ち着いてくるとの期待が現れている。

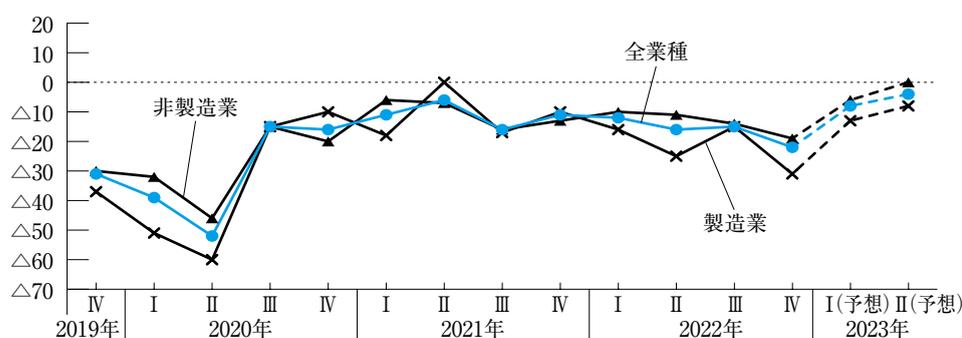
### (1) 売上げBSI



### (2) 収益BSI



### (3) 業況BSI



## 2. 製造業の動向

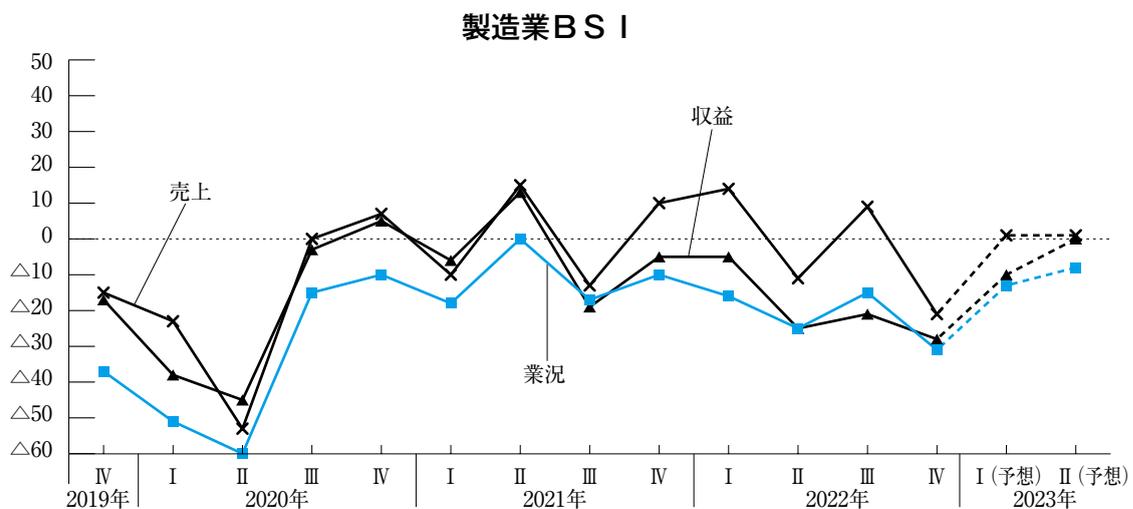
### 【製造業の現状】 業況判断は大幅に悪化

Ⅳ期は、Ⅲ期と比べ、業況判断 BSI ( $\Delta 15 \rightarrow \Delta 31$ )、売上げ BSI ( $9 \rightarrow \Delta 21$ )、収益 BSI ( $\Delta 21 \rightarrow \Delta 28$ ) はすべての項目で悪化した。原材料やエネルギーの価格上昇などがより一層深刻さを増しており、コスト増加分を販売価格に転嫁しきれていない可能性や半導体をはじめとする部品の供給不足も依然として改善されていない可能性などが考えられる。

### 【先 行 き】 業況判断は2023年Ⅰ期・Ⅱ期ともに改善に向かう見通し

2023年Ⅰ期の予想をみると、Ⅳ期に比べ、業況判断 BSI ( $\Delta 31 \rightarrow \Delta 13$ )、売上げ BSI ( $\Delta 21 \rightarrow 1$ )、収益 BSI ( $\Delta 28 \rightarrow \Delta 10$ ) は大幅な改善となっている。続くⅡ期の予想も、売上げ BSI ( $1 \rightarrow 1$ ) と横ばいのほか、業況判断 BSI ( $\Delta 13 \rightarrow \Delta 8$ )、収益 BSI ( $\Delta 10 \rightarrow 0$ ) と改善が続き、見通しは比較的明るい。

業況判断 BSI については、原材料およびエネルギー価格の上昇や半導体不足などの影響が引き続きみられるほか、国際情勢悪化に伴う経済活動の停滞などの懸念材料は依然として多いものの、コロナが指定感染症5類へ引き下げられる方針や今年の夏から秋に比べコスト上昇幅縮小への期待感が先行きに現れている。



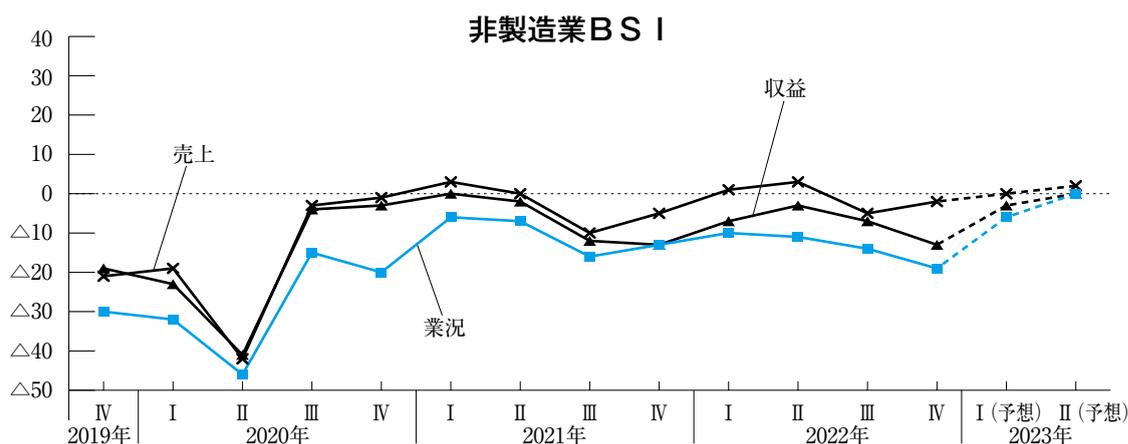
## 3. 非製造業の動向

### 【非製造業の現状】 業況判断は悪化

Ⅳ期は、Ⅲ期に比べ、業況判断 BSI ( $\Delta 14 \rightarrow \Delta 19$ )、収益 BSI ( $\Delta 7 \rightarrow \Delta 13$ ) は悪化の一方、売上げ BSI ( $\Delta 5 \rightarrow \Delta 2$ ) はやや改善した。業況判断 BSI については、コロナ第8波感染拡大の影響や物価上昇などが影響している。なお、物価上昇分を販売価格に転嫁しきれていないことで、売上げは改善するも収益増加にはつながらない現状が浮き彫りとなっている。

### 【先 行 き】 業況判断は、2023年 I 期、II 期と改善が続く見通し

2023年 I 期以降の予想をみると、IV 期に比べ、業況判断 BSI ( $\Delta 19 \rightarrow \Delta 6$ )、売上げ BSI ( $\Delta 2 \rightarrow 0$ )、収益 BSI ( $\Delta 13 \rightarrow \Delta 3$ )、続く II 期の予想は、業況判断 BSI ( $\Delta 6 \rightarrow 0$ )、売上げ BSI ( $0 \rightarrow 2$ )、収益 BSI ( $\Delta 3 \rightarrow 0$ )と改善が続く見通し。業況判断 BSI については、食料品やエネルギーの価格上昇などへの懸念は続いており、注視する必要があるものの、コロナ対策としての行動規制や水際対策の緩和などにより人流が増加しているなど、ポストコロナへの期待感が現れている。

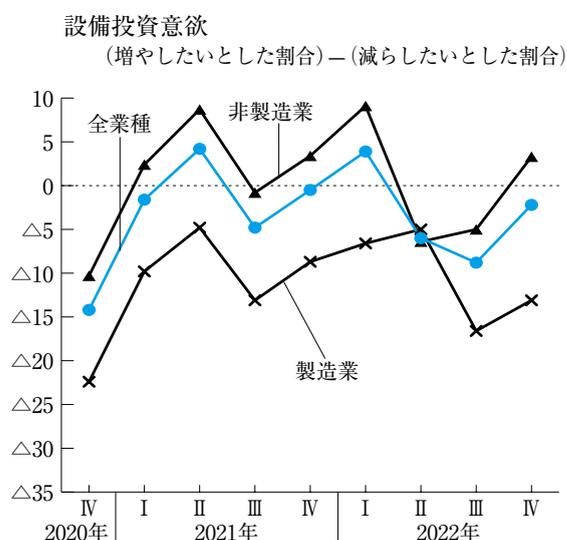


## 4. 設備投資の動向

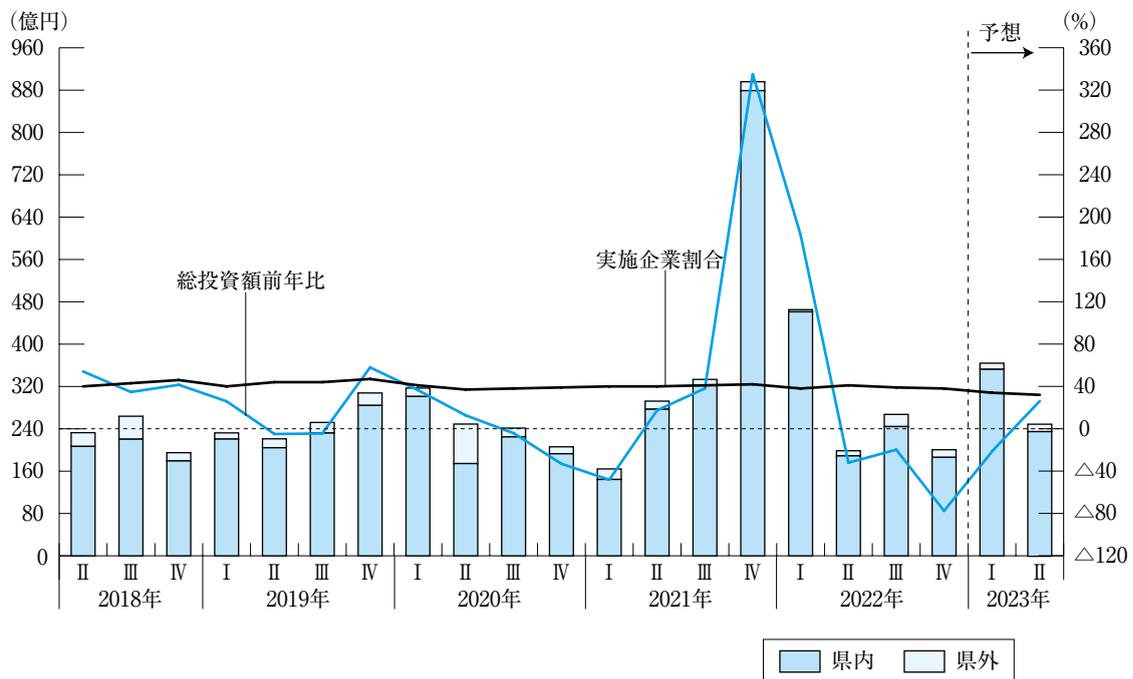
回答企業（全産業）のうち、IV 期において1百万円以上の設備投資（新リース契約を含む）を実施した企業は全体の38.3%、総投資額は200億51百万円（県内投資額は186億7百万円）であった。前年同期と比較すると、総投資額は全体で77.6%減（Ⅲ期比25.0%減）で、内訳は製造業が同81.0%減、非製造業が同35.6%増であった。なお、実施企業の割合は、同3.3ポイント低下した。

先行きの計画をみると、2023年 I 期の実施企業割合は33.9%で前年同期より4.0ポイント低下、総投資額は約364億円で前年同期比21.7%減、続く II 期の総投資額は約250億円で同25.9%増となる見込み。

今後1年間の設備投資意欲（全産業）は、「増やしたい」が15.6%、「減らしたい」が17.8%、「ほぼ変わらない」が66.7%であった。「増やしたい」から「減らしたい」を差し引いた比率は、全産業で $\Delta 2.2$ ポイント（Ⅲ期 $\Delta 8.8$ ポイント）と3期連続でマイナスとなったものの、上昇傾向がみられる。業種別では、製造業が $\Delta 13.1$ ポイント（同 $\Delta 16.6$ ポイント）、非製造業は $+3.3$ ポイント（同 $\Delta 5.0$ ポイント）とそれぞれ上昇しており、非製造業についてはプラスに転じている。



## 設備投資額（支払ベース）



## 製造業

Ⅳ期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、52.5%で前年同期より6.1ポイント低下した。総投資額は、165億47百万円(前年同期870億9百万円)で、大手の化学、電気機械などで減少したことを主因に、前年同期比81.0%減少となった。うち、県内投資額は158億71百万円(同857億13百万円)であった。

設備投資を目的別にみると、Ⅲ期と比べ、「増産・拡販のため」、「環境対策」で比率が低下した一方、「合理化・省力化」、「研究開発」、「既存設備の補修更新」などで上昇した。

先行きの計画をみると、2023年Ⅰ期の総投資額は約333億円で前年同期比24.5%減、続くⅡ期は約234億円で同29.2%増の見込み。

今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（11.5%）が「減らしたい」（24.6%）を13.1ポイント下回り、12期連続でマイナスとなった。

## 非製造業

Ⅳ期に1百万円以上の設備投資を実施した企業の割合は、31.1%で前年同期より2.2ポイント低下した。総投資額は35億4百万円(前年同期25億84百万円)で、建設業や小売業で増加し、同35.6%増となった。県内投資額は27億36百万円(同21億99百万円)となっている。

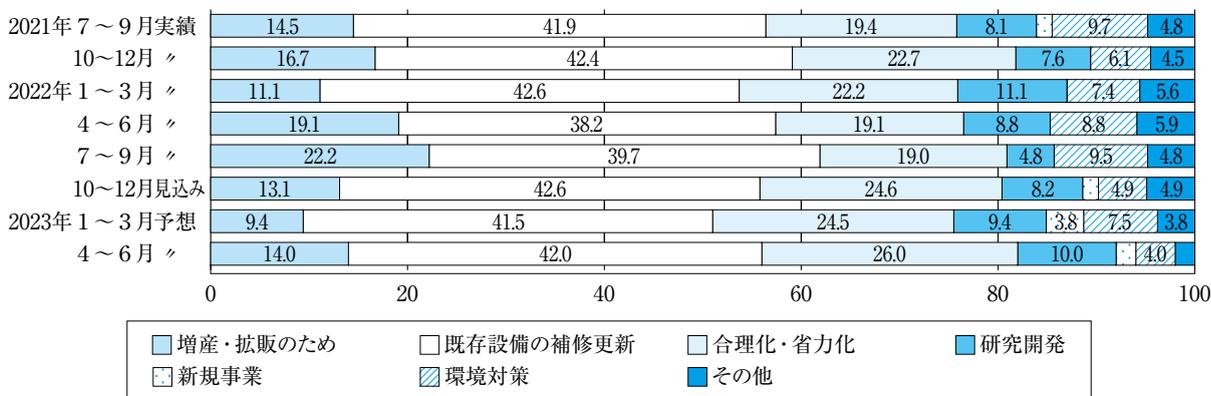
目的別にみると、Ⅲ期と比べ、「合理化・省力化」、「研究開発」、「既存設備の補修更新」の比率が低下した一方、「店舗等の移転」、「新規事業」、「拡販のため」などで上昇した。

先行きの計画をみると、2023年Ⅰ期の総投資額は約31億円で前年同期比26.8%増、続くⅡ期は約16億円で同7.9%減となる見込み。

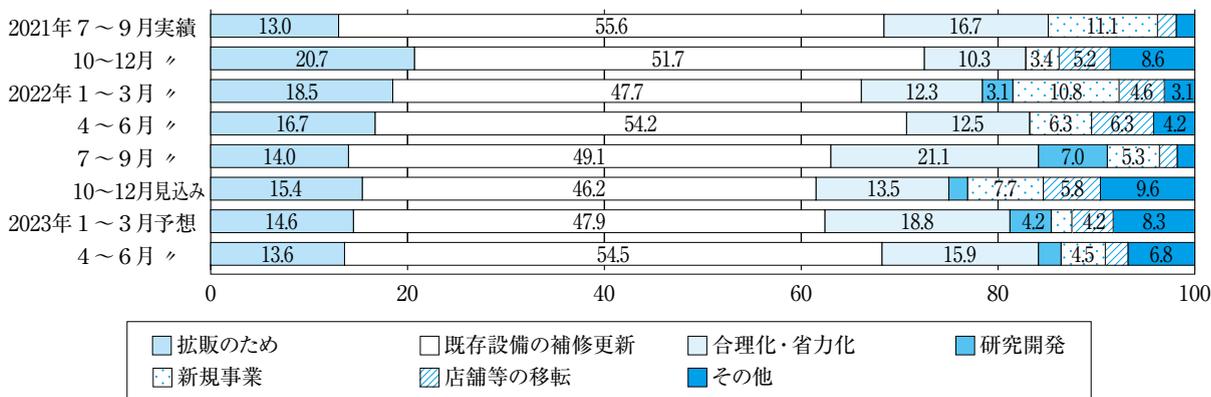
今後1年間の投資意欲は、「増やしたい」とする企業割合（17.6%）が「減らしたい」（14.3%）を3.3ポイント上回り、3期ぶりにプラスに転じた。

設備投資の目的

(1) 製造業



(2) 非製造業



(複数回答)

回答企業の概要

		(社)		
		総数	製造業	非製造業
資本金規模	1百万円未満	1	0	1
	1～3百万円未満	0	0	0
	3～5百万円未満	2	0	2
	5～10百万円未満	5	2	3
	10～50百万円未満	100	30	70
	50～1億円未満	46	19	27
	1億円以上	26	10	16
	計	180	61	119
従業員数	10人未満	18	3	15
	10～30人未満	35	13	22
	30～50人未満	36	10	26
	50～100人未満	33	9	24
	100～200人未満	28	9	19
	200～300人未満	15	8	7
	300～	15	9	6
計	180	61	119	

		(社)	
		業種	回答
製造業	食料品		12
	繊維製品		3
	木材・木製品		8
	パルプ・紙		2
	化学工業		8
	窯業・土石		4
	機械・金属		16
	その他		8
	計		61
非製造業	建設業		15
	運送業		11
	卸売業		29
	小売業		27
	サービス業		36
	その他		1
計		119	
総数		180	

## 参考資料

## B S I

## (1) 業況判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年4～6月実績	13	63	24	△11	△6	16	65	19	△3	0	12	61	27	△15	△7
7～9月	8	63	29	△21	△16	5	65	30	△25	△17	10	61	29	△19	△16
10～12月	20	63	17	3	△11	26	53	21	5	△10	18	66	16	2	△13
2022年1～3月	14	57	29	△15	△12	11	58	31	△20	△16	15	57	28	△13	△10
4～6月	14	51	35	△21	△16	7	57	36	△29	△25	17	48	35	△18	△11
7～9月	11	58	31	△20	△15	17	43	40	△23	△15	8	66	26	△18	△14
10～12月見込み	<b>13</b>	<b>65</b>	<b>22</b>	<b>△9</b>	<b>△22</b>	<b>15</b>	<b>54</b>	<b>31</b>	<b>△16</b>	<b>△31</b>	<b>12</b>	<b>71</b>	<b>17</b>	<b>△5</b>	<b>△19</b>
2023年1～3月予想	12	65	23	△11	△8	8	67	25	△17	△13	13	65	22	△9	△6
4～6月	14	63	23	△9	△4	16	56	28	△12	△8	13	67	20	△7	0

## (2) 売上げ判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年4～6月実績	30	40	30	0	5	42	34	24	18	15	24	43	33	△9	0
7～9月	23	39	38	△15	△13	23	33	44	△21	△13	23	42	35	△12	△10
10～12月	40	40	20	20	0	57	26	17	40	10	32	47	21	11	△5
2022年1～3月	28	37	35	△7	6	30	29	41	△11	14	27	41	32	△5	1
4～6月	29	36	35	△6	△1	31	30	39	△8	△11	28	39	33	△5	3
7～9月	26	44	30	△4	△1	33	34	33	0	9	22	49	29	△7	△5
10～12月見込み	<b>32</b>	<b>49</b>	<b>19</b>	<b>13</b>	<b>△7</b>	<b>41</b>	<b>28</b>	<b>31</b>	<b>10</b>	<b>△21</b>	<b>27</b>	<b>60</b>	<b>13</b>	<b>14</b>	<b>△2</b>
2023年1～3月予想	17	54	29	△12	0	15	46	39	△24	1	18	58	24	△6	0
4～6月	23	51	26	△3	2	33	37	30	3	1	18	58	24	△6	2

## (3) 経常利益判断

(単位：%，ポイント)

	全産業					製造業					非製造業				
	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI	好転	不変	悪化	BSI	季調済BSI
2021年4～6月実績	26	43	31	△5	2	35	39	26	9	13	21	45	34	△13	△2
7～9月	20	43	37	△17	△12	18	39	43	△25	△19	21	45	34	△13	△12
10～12月	30	45	25	5	△13	47	22	31	16	△5	23	55	22	1	△13
2022年1～3月	24	41	35	△11	△6	26	33	41	△15	△5	22	46	32	△10	△7
4～6月	21	39	40	△19	△12	22	27	51	△29	△25	21	44	35	△14	△3
7～9月	22	42	36	△14	△9	20	32	48	△28	△21	22	48	30	△8	△7
10～12月見込み	<b>23</b>	<b>53</b>	<b>24</b>	<b>△1</b>	<b>△18</b>	<b>28</b>	<b>38</b>	<b>34</b>	<b>△6</b>	<b>△28</b>	<b>20</b>	<b>61</b>	<b>19</b>	<b>1</b>	<b>△13</b>
2023年1～3月予想	18	54	28	△10	△6	16	48	36	△20	△10	19	57	24	△5	△3
4～6月	19	53	28	△9	△1	26	43	31	△5	0	16	57	27	△11	0

(注) B S I = (好転) - (悪化)